

十和田湖地区高齢者支援ネットワーク会議

- 十和田湖地区の住民、関係団体、関係機関が声かけや訪問などによる日常の安否確認を通じて、相互に連携・協力して、高齢者を見守る活動をしている。
- 平成23年度から実施。十和田湖地区の地域団体の代表者等で構成する15名の委員をおき、活動を具体的に進める地域の主体としている。
- 地域の実情に応じた高齢者の見守り体制としてネットワークの必要性と見守り体制のあり方について検討している。

<活動内容>

◎高齢者支援ネットワーク会議を年3回開催。その中で地域の課題を話し合いながら、いろいろなことを検討している。

～活動例～

◆緊急連絡カードの配布

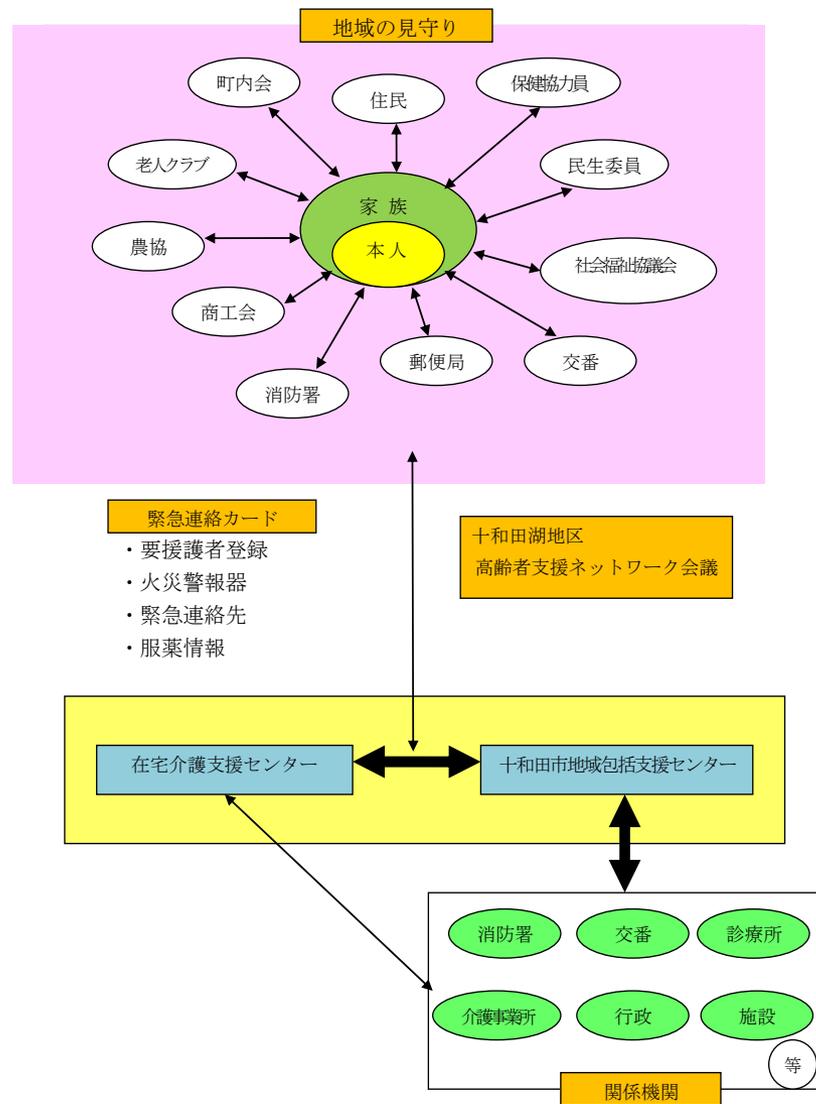
- ・平成23年度より独居高齢者世帯を主として全世帯に開始。
- ・在宅介護支援センターとして地域における介護予防教室の中で住民や町内会長、民生委員等関係者に緊急連絡カードの必要性について説明している。

◆認知症高齢者徘徊模擬訓練の実施

- ・平成23年度に十和田湖地区住民対象に実施。認知症サポーター研修と声かけ体験を行う。
- ・十和田湖地区内にあるグループホーム3カ所や消防署、交番の協力を得ている。



十和田湖地区高齢者見守り体制



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市町村名	十和田市（十和田湖地区）
②人口（※1）	64,523人（4,721人）（平成25年3月31日現在）
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	（平成25年3月31日現在） 十和田市（65歳以上）26.4%（75歳以上）13.5% 十和田湖地区 36.2% 22.0%
④取組の概要	十和田湖地区高齢者支援ネットワーク会議は年3回開催。その中で地域の課題を話し合いながら、いろいろなことを検討している。
⑤取組の特徴	地域住民、関係団体、関係機関が相互に連携・協力して、地域の実情に応じた高齢者の見守り体制としてネットワークの必要性と見守り体制のあり方について検討しながら活動している。
⑥開始年度	平成23年度
⑦取組のこれまでの経緯	十和田湖地区は高齢化率が約36%と高く、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、住民が課題の解決に主体的に取り組むことで、コミュニティの活性化、地域力の再生につながり、できるだけ早期に問題を発見し、必要な支援を迅速かつ効果的に行っていくことをねらいとしている。
⑧主な利用者と人数	・会議の構成員は十和田湖地区における⑨の各団体、関係機関の代表15名 ・活動の対象は十和田湖地区住民
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	在宅介護支援センター、町内会、民生委員、保健協力員、老人クラブ、農協商工会、郵便局、消防署、交番、社会福祉協議会、
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	特になし
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	特になし
⑫取組の課題	・地域全体に高齢者支援ネットワーク会議の存在、活動を知ってもらう ・地域全体の活動力の拡充及び事業者との連携強化 ・地域の特性を生かした取組みの継続
⑬今後の取組予定	緊急連絡カードの普及継続 認知症高齢者模擬訓練の実施
⑭その他	特になし
⑮担当部署及び連絡先	十和田市地域包括支援センター TEL 0176-70-3671 Fax0176-70-3672

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。調査日（平成〇年〇月〇日現在）を記入してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。